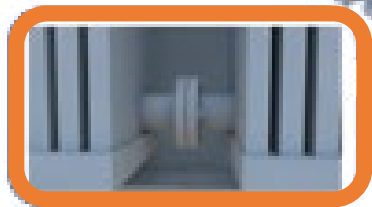
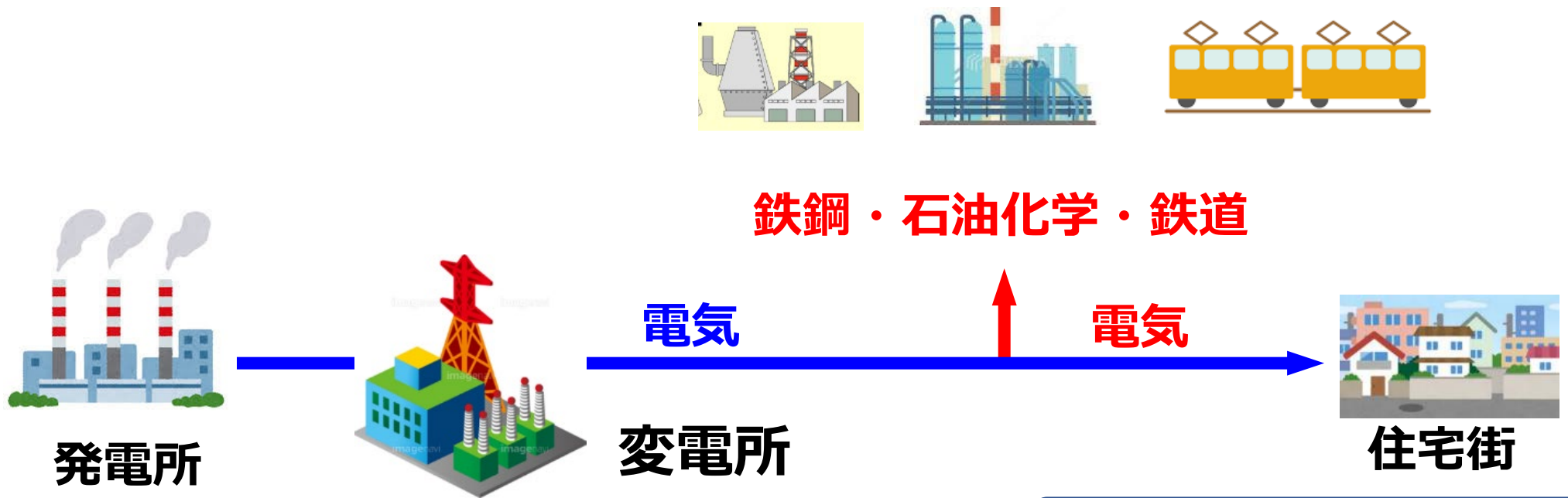


# リークエイドの開発経緯



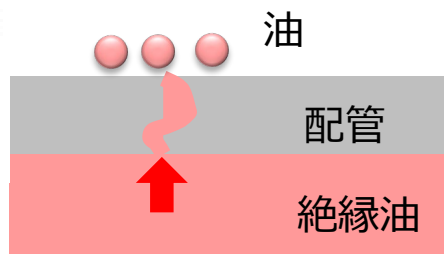
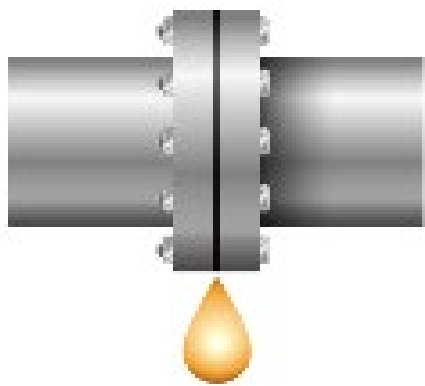
応急処置がしたい…

油面に接着できる  
シール材が欲しい…

簡易に施工できるものが  
あれば…

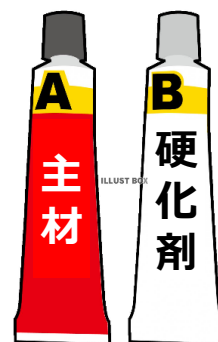
# UV硬化型シール材

## ◆漏油箇所と既存補修材の問題点



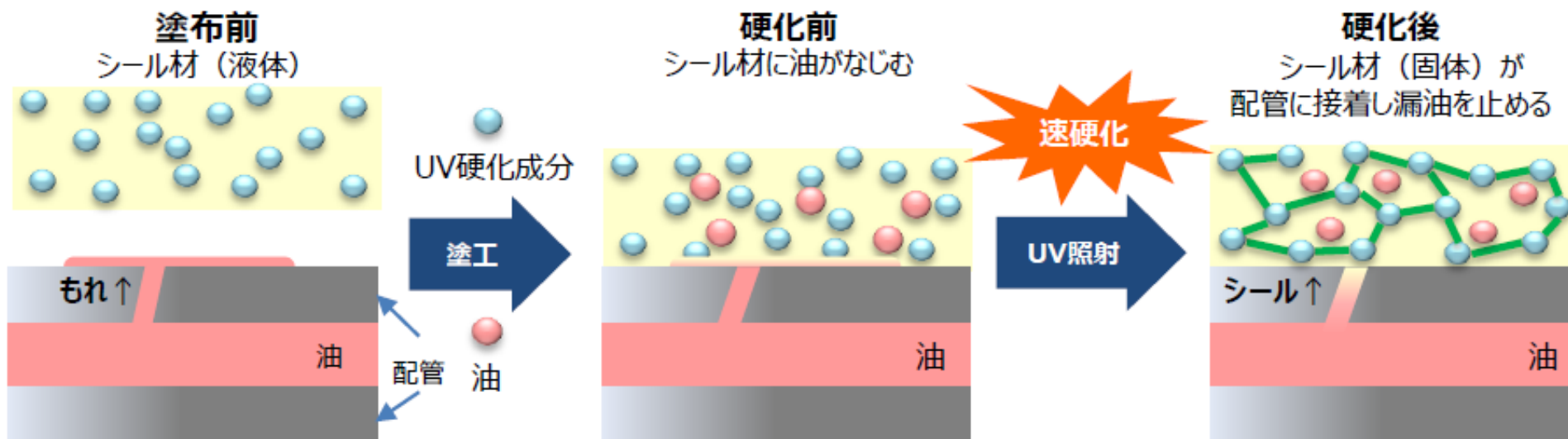
1. 油面に接着しない
2. 硬化に時間がかかる
3. 施工に腕がいる

→完全脱脂できないとNG  
→油道ができて再漏油  
→専門業者でのコスト高な補修



例：2液エポキシ系シール材

## ◆シール原理イメージ



# リークエイド

## ◆特長

➤ 多少の油膜があっても接着可能

シーラ材自体が油がなじみ、油を取り込むことで配管などの接着面にシーラ材が接触し、油面への接着を実現

➤ UV照射で短時間硬化

新たな油道の防止に効果的。  
エポキシ系補修材に比べ作業時間を大幅短縮

➤ 塗布に最適な粘度設計

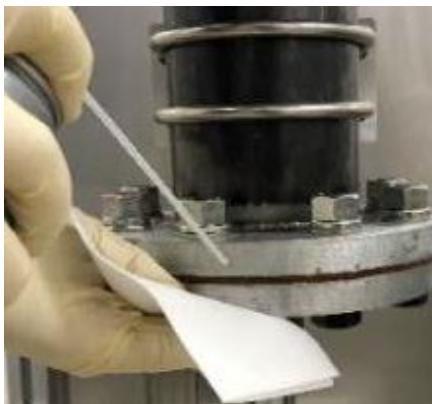
垂直面で垂れにくく、部品の隙間に入り込む流動性を実現

➤ 補修後の剥離も可能

はつりなど衝撃を加えることで剥離できる硬度設計

## ◆施工イメージ

劣化した塗膜・  
さびを除去、洗浄



シーラ材塗布



UV照射・硬化



重ね塗り、硬化



# 製品情報

型番		リークエイド
種類		1液UV硬化型アクリル
性状（硬化前／硬化後）		白色粘性液状／白色固体
各種素材への接着性 （#1000ケレンあり）	良好	ステンレス、鋳鉄、硬質塩ビ、アクリル（PMMA）ガラス 亜鉛メッキ、炭素鋼、真鍮、アルミ
	劣る	オレフィン系樹脂（PP, PE）
	不良	シリコーン系樹脂、フッ素系樹脂
対SUSシェア強度[MPa] ※1	油膜なし ※2	8
	油膜あり ※3	6
絶縁破壊電圧[KV/mm] ※4		52
保管期間（目安）		製造後2年（未開封・常温暗所保管）
正味量		200g

※1 シェアテスター@ 0.2mm/s, 25℃

※2 脱脂後

※3 15wt%絶縁油Aへキサン溶液へ浸漬・乾燥後

※4 ASTM D149準拠 硬化条件：1J/cm<sup>2</sup>@ 365nm

硬化時のシール材の厚み：1mm

# リークエイド施工例

## 大型変圧器 (電力会社、鉄鋼会社、石油化学会社)

フランジ



ブッシング



CT-BOX



油面計



バルブ



溶接部

